

令和6年度鶴岡市市民まちづくり活動促進事業

事業名

扉座のワークショップ体験で、磨こう「感性・表現・生きる力」を！

基本コース



団体名 ワンデー「ドラマ」体験させ隊

0. 団体について

【団体設立の経緯】

【団体設立の経緯】

- 1, ドラマ体験を通して、**若者世代の非認知能力（想像力・思いやり・洞察力）**を育成し、生きる力を育成する。
- 2, シアターゲームを通して、**五感の感受性**を高める。
- 3, 子供たちが発信する感性に合わせて、**台本の世界を創出**する。

【活動実績】

メンバーは、「**麦の会**」「**市民劇場**」「**市民ミュージカル**」等で、活動を積んでいるメンバー・**子供世代の演劇体験の大切さを認識**しているメンバーが設立。

【事業目的】

具体的なワークショップの構想

目的, ドラマ体験→子供達の**非認知能力**
非認知能力とは「**想像力・思いやり・洞察力**」 = **生きる力**

※「イギリスのドラマ教育と非認知能力」などについては、
令6年、荘銀タクト顧問となられた「水戸雅彦氏」より、ご教示頂いた。

1, 過程第一部, シアターゲーム → 五感（感受性）を刺激する。



2, 子供たちの**感性を引き出す**。→ 台本の世界を創出する。

※「楽しかった。」だけでなく、高学年は「想像力・思いやり・洞察力」育成迄を目標。

2. 実施計画

<

5月～6月 劇団との調整(当日の乗り物・時間調整・会場など)
6月中旬、 市教育委員会後援申請・市民向け発信(SNS・マスコミ・ポスターなど)

7月20日(土)

アシスタントAチーム

準備 9時15分
12時

庄内空港に講師迎え。→鶴岡市内で打ち合わせと講師昼食
会場到着→音響装置組み立てに加わる。

アシスタントBチーム(会場は、鶴岡市泉町 勤労者会館 大ホール)

9時
10時半～
12時半

音響装置運搬(松山→鶴岡)
音響装置組み立て準備。
音響装置セット完了。(扉座の講師も加わって)

アシスタントCチーム

12時

集合受付準備(打ち合わせと、机、保護者用椅子のセッティング、受付)

本番 2時45分
13時～16時
16時00分～
まとめ 16時45分

ワークショップ開始(セレモニー)
シアターゲーム(休憩時間あり、2チームに分かれ)心と感性を解きほぐす。
「さよなら先生」発表(チームごと)(セレモニー)心と感性を掘り下げる。
講師お見送り→空港へ

8月31日までに・・・総括・記録・アンケート編集・・・ABCアシスタント



頭の中で**自分の血液型**
を思いだしてください。**同じ**
血液型の人と仲間を作っ
てください。

4. 次は 同じ誕生月の仲間探し。 「何月生まれ？」と聞きながら仲間探し。

3月生まれ
は、いません
か？

貴方の誕生
月は、何月で
すか？

二人とも同じ4月生まれと
叫んで、コミュニケーション
をとり、仲間になりました。

すぐに見
つかれる
人もいれ
ば、最後
まで探せ
ない人も
いる。
声出して、
探すこと
がポイントのゲー
ム

その後は。

5. ジップザップ（これは**0秒反応**を要求されるゲーム） 「瞬時の反応判断」が重要

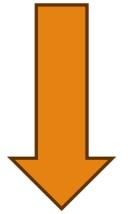
「簡単」と参加した大人達は、次々自滅。「小3」と「小4」が最後まで残った。拍手です！！



大人は簡単な「瞬時の判断と反応」ができにくくなっている？」

6, 自動車教習所だ！一人が、運転手、もう一人は車。肩をもって、車の操縦みたいに、相手を自由に動かすよ。

最初は、車は
目をあけて。



次に車が、目
をつむる。

「車は2000
万円の車だよ。
事故を起こさ
ないように注
意して。安全
運転だよ。」

目をあけちゃ、だめ
と言われても怖いも
ん。



次の自動車は、肩を持たずに、言葉だけで指示する。 できる組は、階段を上る。

カメラマン

できる車は、階段を
登ってみよう。
安全運転で。

エーッ

カメラマン





田中先生の講義:「演劇で大切だと思うものは?」、小3~4の4名が挙げたのが、黒板右側。努力・表現力・集中力・馬鹿力。
「どれも必要だけど、最重要なのは」と、「想像力」を田中先生は挙げた。

第一部と第二部の間の休憩に、女優さんに、自然に集まり打ち合わせの小学生たち。





休憩の後は、

**第二部 「さよなら 先生」を、実演しよう！
まずは、台本の「読み合わせ」から！**

先生役は、

**藤田直美
さん。(扉座
役者)**

**指導は
田中信也
さん(扉
座)**

**シアター
ゲームの成
果か、皆
すっかり
リラックス。**



← ①立ち稽古(立って台本持って読む)で、ニコニコと
台本 読み合わせ。

↓ ②女優の話を聞くの真剣さ。さすが小6。大人です。



③ 顔がだんだん引き締まる。! →

～写真が、チョット ピンボケで、すみません。～



さっき、皆が駅に来たときは、
「先生さようなら」「さようなら」って
言ってたのに、
そのあとに、
「いかないで!」「行かないで。」っ
て、いったよね?
あれは、何故だと思う?

同じシーンを繰り返し、
ファシリテーターによって、
少しずつ読み込みが、深まる...

それは、電車が
きたからだ!



小学生たちに、見られない空間で、女優は、役創いをしていた。



**さすが、フロ。
あっという間に、
悲しみをたたえた表情に。**

出演者達も女優の表情から
感じとって…





母さんも
そうだった。

私達を、海
に連れて
行ったのが、
問題になっ
たんだ。

にんじんも、
たべます！

給食も
残しません

シアターゲームで 磨かれた感性！

「先生が行ってしまうのは、いやだよ」

手紙も書きます！

感性豊かな この表情！！





**カーテンコールは、フロの女優さんと、ご一緒に！
「ありがとうございました！」**

参加者保護者とお子さんの御意見は？

① 参加者年齢 9歳 10歳 11歳 8歳

② このワークショップを何で知りましたか？番号に○をつけてください。

1, 新聞記事 2, チラシ 3, 関係者からの口コミ 4, その他(知人から)

③このワークショップに参加しようと思った動機があれば番号に○をつけてください。

1. お子さんの希望。0
2. 保護者が、体験させたかった。3
2. その他の理由があれば。(誘われたから、本人も演技が好きだから)

④このワークショップへの「親子で参加」の形について。

1. 親子参加が良い。1
2. 子どもだけが良い。1
3. 親子参加子どものみ参加、どちらでもよい。
4. その他の形が良い。

⑤このワークショップについて、お知らせの仕方・申し込み方法も含めて、改善した方がいいと思ったことについて、お願いします。

お知らせがなかったなので、各小学校に配布すると良いと思います。

思っていたよりハードかなと感じました。10時頃から出かけていたので、子どもにとっては、ほかの予定を入れずに、来るべきだった かもしれません。

藤田さん(女優)の演技に引き込まれて、涙が自然に出て来た、と話していました。

⑥ 今まで参加したことのあるワークショップがあれば教えてください。

色々、工作、合唱、オーケストラなどいろいろ体験しています。

参加して楽しかったと言ってます。貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。また、参加させたいと思います。ありがとうございました。チラシ配布するとよいと思います。

まとめ:①親子参加は好評。②子供の潜在的な力を引き出すプロの力は大きい。③体力的にハード。③小学生、日常的に多忙、気分転換になったよう。④チラシは市内全小4～6年生に配布依頼したが、未配付校があった？

会員(演劇経験あり・50代)の参加体験記より

これがプロだ！と、**扉座マジック**を目のあたりにした。

子供達は、**感じる力も想像する力も**既に持っていることを改めて認識した。

その子供たちの発する情報に合わせ、ファシリテーターが時には待ち、時にはヒントをだし、**子どもたちが大きく深くなっ**
て行くのに、感動した。

ファシリテーターの話す**内容と語彙の豊かさに、ただただすごい！**としか言葉がありませんでした。**保護者の方が参加**
や見学し、体験を共有できたのは良かったと思います。

現実をドラマに引き寄せていく手腕は**魔法を見た様**でした。

前半で、五感の感受性を高めておいて、休憩に入る時には、(子供たちは、その人が先生役と知らないのに)、先生役の
周りに集まって台本について話をしていたのは、いったいどんな働きかけをしたのだろうと、見逃してしまい、残念です。
この場に、居合わせたことに感謝しています。

短文に短縮させていただきました。

※ファシリテーターとは 組織の中で相互理解を促しながら合意形成し、問題解決を促進する活動をする人。

ご清聴ありがとうございました。